

Innovative Environmental Technology Symposium 2023

革新的環境技術シンポジウム2023

～2050年カーボンニュートラルを支えるイノベーション～

2023年12月20日 水 13:00～17:25(受付開始 12:30)

イノホールおよび Web 配信(ハイブリッド開催) **入場無料**

主催：公益財団法人 地球環境産業技術研究機構

後援(予定)：経済産業省、公益社団法人 日本化学会、公益社団法人 化学工学会、公益社団法人 日本農芸化学会、
一般社団法人 エネルギー・資源学会、一般社団法人 日本エネルギー学会、
公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会

SCOPE

我が国では2023年2月、脱炭素、エネルギー安定供給、経済成長の3つを同時に実現するべく「GX（グリーン・トランスフォーメーション）実現に向けた基本方針」が閣議決定され、同年5月、GX推進法が成立し、CO₂を排出しないクリーンエネルギー中心に転換することを目指しています。世界的には、COP27で採択された「シャルム・エル・シェイク実施計画」では、COP26全体決定「グラスゴー気候合意」の内容を踏襲しつつ、緩和、適応、ロス&ダメージ、気候資金等の分野で、締約国の気候変動対策の強化を求める内容となっています。このような背景から、革新的エネルギー・環境技術への期待は今まで以上に高まっています。

当機構は設立以来、このような抜本的なCO₂削減を実現するための革新的エネルギー・環境技術の研究開発を推進するとともに、地球温暖化対策シナリオを作成して政策提言につなげてまいりました。温室効果ガスを大幅削減するためにはイノベーションの創出が不可欠であるため、本シンポジウムでは、国際的な温暖化対策の情勢を踏まえながら、全グループの最新の研究成果をご報告いたします。

プログラム

12:30	受付開始	
13:00～13:05	開会挨拶	理事長 山地 憲治
13:05～13:35	招待講演	COP28 の成果と今後の動向 経済産業省 大臣官房審議官(環境問題担当) 小林 出
13:35～14:05	基調講演	大阪・関西万博と脱炭素 理事・研究所長 下田 吉之
14:05～14:45	講演 1	排出削減ポテンシャルとコスト –IPCC 報告書等の検証と含意– システム研究グループリーダー 秋元 圭吾
14:45～15:20	休憩	ポスターセッションを Room A で開催
15:20～16:00	講演 2	カーボンニュートラルの実現を目指したバイオものづくり技術の開発 バイオ研究グループリーダー 乾 将行
16:00～16:40	講演 3	カーボンニュートラル達成に向けた CO₂ 分離回収・有効利用技術開発の動向と RITE の取り組み 化学研究グループリーダー 余語 克則
16:40～17:20	講演 4	国内における CO₂ 地中貯留の実用化・事業化に向けて –変わる研究開発と新しい役割– CO ₂ 貯留研究グループリーダー 薛 自求
17:20～17:25	閉会挨拶	専務理事 本庄 孝志

ポスターセッション

12:30～16:00 の間、4 階 Room A にてご自由にポスターをご覧ください。説明員もおりますので、お気軽にご質問ください。

アクセス

イイノホール & カンファレンスセンター

- 東京メトロ日比谷線「霞ヶ関」駅 C4 出口直結
- 東京メトロ丸の内線「霞ヶ関」駅 B2 出口徒歩 5 分
- 東京メトロ銀座線「虎ノ門」駅 9 番出口徒歩 3 分
- 東京メトロ有楽町線「桜田門」駅 5 番出口徒歩 10 分
- JR 山手線・京浜東北線・東海道線・横須賀線
都営地下鉄浅草線、ゆりかもめ「新橋」駅徒歩 10 分
- 都営地下鉄三田線「内幸町」駅 A7 出口徒歩 3 分

お申し込み

RITE ウェブサイト

<https://www.rite.or.jp>

よりお申し込みください。

申込締切：12 月 13 日(水)

